

「沖東五輪」

多彩な種目新たな伝統に

沖野東小学校では毎年、「沖東祭」という全校児童で楽しめる行事が



「おれの的当て屋」などいろいろな種目に楽しく挑戦(ちょうせん)しました

ありました。何か代わりにできないかと考え、行われたのが「沖東オリンピック2020」です。

感染対策、3密に注意しながら、全校児童が楽しめる競技を4年生以上の各学級で考えました。的当てやジェスチャーゲームなど多彩な種目が決まりました。

1年生から6年生まで1位や新記録を目指し、楽しくチャレンジできました。行事を通し、みんなの笑顔が増えたことがとても印象的でした。

6年生は他の行事も中止になっており、小学生最後の学年として、とても悔しい中での沖東オリンピックでしたが、とて



編集委員 阿部杏優奈、今野妃織、佐藤寛樹、横山はるか、安部祥永、永野葉、芳賀愛莉(6年) 指導教諭 杉山真史

も思い出に残るものになりました。例年とは違う形でも、学校の伝統を守れて良かったと思います。どんな状況でも工夫次第で楽しく学校を盛り上げられると分かりました。「沖東オリンピック」は新しい伝統になると思います。

沖野東小

学校名 仙台市立沖野東小学校  
所在地 仙台市若林区沖野高野南89  
電話 022(285)4641  
校長 松永 弘一  
児童 358人



楽しくあいさつ

沖野東小では、あいさつ運動に取り組んでいます。昨年10月のあいさつ月間では、あいさつスタンプラリーカードにも挑戦しました。特に低学年は元気にあいさつをし、スタンプをもらっている人がたくさんいました。5枚以上のカードを集めて表彰される人もいました。これからも楽しく笑顔であいさつができる学校にしていきます。



次回は 北中山小(仙台市) 二俣小(石巻市)

西住小

学校名 柴田町立西住小学校  
所在地 柴田町船岡大住町16の1  
電話 0224(53)3227  
校長 佐々木美奈子  
児童 104人



松の歴史伝える

西住小には「天女の松」があります。衣をひるがえし、天に似て空をゆっくり昇る人の姿に似ているためそう呼ばれます。登下校時などに目にします。七ヶ宿ダム建設で水没する農家の屋敷にあったアカマツを植樹した歴史があり、その話を一昨年、地域の方々が紙芝居にしてくださいました。入学してくる1年生にも伝えていきたいです。

斜面で遊ぶ

圧巻の景色冬でも楽しく

西住小学校にはロープを伝って山の斜面を登ったり、山道を歩いたりして遊ぶ「チャレンジパーク」があります。頂上まで登ると、校舎を見下ろすことができます。西住地区を一望できるほどの高さになるので、そこからの景色は圧巻です。



急な斜面をロープを使ってがんばって登ります！冬はそりすべりの場所に！

雪が降るとチャレンジパークの一部の斜面が「スノーパーク」として開放されます。休み時間には、みんながそりを持ってスノーパークに列を作り、そりすべりを楽しめます。

2019年のゴールデンスノーフェスティバルに安全に遊べるようロープや山道が整備されました。本年度は体育環境委員会が中心となり、頂上を目指し登るイベントも行いました。1年生から6年生まで、みんなが

楽しみながら登れました。豊かな自然に触れながら楽しく体力を付けることができます。「チャレンジパーク」。これからさらにたくさん遊び、児童会のスローガン「スノーパーク」をスローガンとして「スノーパーク」を目標としていきます。



編集委員 角田陽向、佐藤雅、鈴木このみ、田中伶、長山征矢(6年) 指導教諭 片岡綾音